

講義名	問題解決ツール		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	持田 信治		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	33033

主題と概要

企業や組織の運営では様々な問題に直面する、そして問題解決のための効果的かつ具体的な解決方法が求められる。そして問題解決では問題を数値的又は可視化して分析して問題の本質を特定することが求められる。そこで、本講義では問題を分析して解決するための基本的なツールの説明を行い、問題を数値的又は可視化して問題のポイントを特定する力を養い、更に組織の部員と問題を共有するための問題分析、把握能力の習得を目指す。また、本講義では具体的な問題解決事例による演習を通じて問題解決法の活用法も学ぶ。

到達目標

- (1) 問題解決とは何か、また問題解決手順を説明できる。
- (2) 問題解決に必要な基本的な手法を利用して、問題の本質の特定ができる。
- (3) 企業や組織に於ける問題の種類や性質の特定ができ、具体的な解決方法を実行できる。

提出課題

- (1) 適宜提示する

評価の基準

小テストなどによる平常点と期末試験の成績を評価して成績とする。平常点には授業へ参加度(出席・発表)を考慮する。ただし発表と質問については大学の学びは自主性が求められることに鑑み、自主学習の成果が伺える質問や意見について評価する。成績の算出方法の詳細は初回の授業にて説明する。履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。

履修にあたっての注意・助言他

- (1) 授業の運用方法、評価基準、受講ルール等の重要事項を初回の授業で説明する。履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。
- (2) 私語、飲食、途中入室、途中退室及び携帯電話の使用は厳禁とし、違反者は厳重に対応する。場合によっては退室を命じることもある。

教科書

.プリント資料を配布する。 .

プリント資料及び参考文献

必要に応じて適宜配布する。
Excelでいつでも使えるQC七つ道具と新QC七つ道具.、今里健一郎・高木美作、日本規格協会2900+税金

授業計画

- 第1回 問題とは
- 第2回 組織に於ける問題について
- 第3回 問題解決方法について
- 第4回 データ分析の実際
- 第5回 戦略とデータ処理
- 第6回 チェックシート
- 第7回 線形モデルと回帰分析
- 第8回 重回帰分析
- 第9回 数量化 類
- 第10回 言語データの分析その1
- 第11回 言語データの分析その2
- 第12回 問題の要因分析、特性要因図
- 第13回 線形計画法その1
- 第14回 線形計画法その2
- 第15回 まとめと演習

予習・復習

シラバスに従った予習と配布された講義内容に基づいた復習を期待する。今回及び前回の講義内容について、小テストを行うこともあるので、授業後に復習を行うこと。また小テストの内容は講義では説明していない関連項目に及ぶこともあるので講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。

備考

しっかりと各手法の特徴をとらえて、問題解決の各プロセスで活用できるようになること。
QC検定4級や3級を受検する者は本講義の履修が望ましい。